

# 2016 年度事業報告書

(2016 年 5 月 1 日から 2017 年 4 月 30 日まで)

一般社団法人つくろい東京ファンド

当法人の目的を達成するために、関連諸団体・個人と連携をとりつつ、次のとおり事業を実施した。

## 1. 個室シェルター「つくろいハウス」の運営

- 1) 他の生活困窮者支援団体等と連携をしながら、住まいのない生活困窮者のための個室シェルター「つくろいハウス」(中野区、定員 7 名)を継続して運営した。
- 2) 中野区内及び新宿区内の借り上げ住居において、入居者各 1 名を継続して受け入れた。
- 3) 必要に応じて、「つくろいハウス」入居者及び退所者への安否確認、福祉・住宅等の相談及び食料支援を実施し、他の生活困窮者支援団体等と連携をしながら入居者や退所者が安定した生活をおくれるための支援を行なった。

## 2. 「潮の路珈琲」事業及び「カフェ潮の路」の開設・運営

- 1) ホームレス経験者の仕事づくりのため、2017 年 2 月、自家焙煎の「潮の路珈琲」事業を立ち上げ、ネット等を通じたコーヒーの販売事業を開始した。
- 2) ホームレス経験者の居場所づくり、仕事づくり及び地域住民との交流の場をつくるため、2017 年 4 月、練馬区内に「カフェ潮の路」を開設し、カフェ(週 2 日)及びコーヒースタンド(週 4 日)を運営した。

## 3. ステップハウス「ふらっとハウス」の運営

新宿区内のステップハウス「ふらっとハウス」(定員 2 名)において、認定 NPO 法人ビッグイシュー基金との提携のもと、ビッグイシュー販売者など住まいのない生活困窮者の受け入れを継続しておこなった。

## 4. シェアハウス「ハナミズキの家」の運営及び「ことといこども食堂」事業

- 1) 墨田区内の若者向けシェアハウス「ハナミズキの家」(定員 3 名)において、東京の住宅費の高さに悩む若者の受け入れを継続しておこなった。
- 2) 「ハナミズキの家」のキッチンスペースにおいて、月 2 回、「ことといこども食堂」を継続して開催し、地域の子どもたちに食事と交流の場を提供した。

## 5. 「ちはやハウス」、「しいなハウス」等の運営

「ちはやハウス」(2016 年 3 月開設、定員 2 名)に続き、豊島区内において、「しいなハウス」(2016 年 7 月開設、定員 4 名)ほか計 6 室を新たに借り上げ、NPO 法人 TENOHASI との連携のもと、住まいのない生活困窮者の受け入れをおこなった。

## 6. 広報及びニュースサイト「マチバリー」の運営

ウェブサイトによる発信やニュースサイト「マチバリー」の運営をおこなった。

## 7. ファンドレイジング

- 1) 当法人の事業資金を調達するため、クラウドファンディングなどを通じた寄付金募集を実施した。
- 2) 当法人のキャラクターグッズを販売し、資金調達の一助とした。